第34巻第5号 平成25年6月15日発行（毎月1回15日発行）昭和58年7月9日 第三種郵便物認可 ISSN 1349-2268

2013 JULY 7

国試対策のベストアプローチ KOKUTAI

月刊 医師国試対策

みなさんの医学生生活を応援します！

臨床のプロが解く！国試問題

107回を中心に、近年の国試問題を臨床のプロの先生方が解説！「ドクターG」も多数登場！

Dr.momoの画像診断 ■ 血尿
● 画像診断の決定版

The Front Line
● 現場重視のオムニバス連載
国試頻出の病理画像解説 第2回
国試に効くクスリ 第2回

Dr. 齋藤の Case Study
Lesson4 ■ 発熱 & 皮疹の鑑別

新連載
これだけ覚える！マイナー11 ■ 皮膚科

轍 ■ 岩平佳子 医師
乳房再建のスペシャリスト

医学教育出版社
http://www.igakukyoiku.co.jp

編集部おススメの初期臨床研修病院

5年連続
マッチング数
増加

長崎県の研修医 × マッチング面接対策

5年連続でマッチング数が伸びている長崎県。そんな県内の病院に勤める研修医に、履歴書の書き方や面接対策についていろいろと教えてもらいました。もうすぐ試験本番という人はぜひ参考にしてください。

長崎県内の初期臨床研修病院

- 長崎大学病院
- 済生会長崎病院
- 長崎医療センター
- 長崎県島原病院
- 佐世保中央病院
- 長崎県上五島病院
- 長崎市立市民病院
- 上戸町病院
- 市立大村市民病院
- 佐世保市立総合病院
- 佐世保共済病院
- 長崎県対馬いづはら病院
- 長崎原爆病院
- 長崎北徳洲会病院
- 健康保険諫早総合病院
- 長崎労災病院
- 長崎県五島中央病院

●長崎県の研修医が教える●

マッチング面接対策 座談会

参加者 →

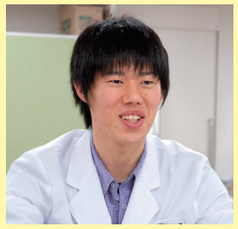
尾曲 久美

●長崎大学病院
1年目研修医

鹿児島県出身。長崎大学卒。学生時代を過ごすうちに長崎県の県民性に愛着をもつようになる。長崎大学病院では今年始まったトライアングルコースで研修に励む。

＋

池田 貴裕

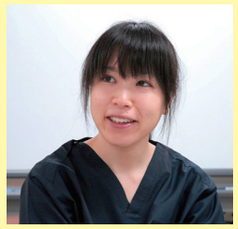


●佐世保中央病院
1年目研修医

生粋の長崎県民。長崎大学卒。救急搬送数年間2,000件、一次から三次までの様々な症例を経験できる佐世保中央病院で研修中。消化器外科を志望している。

＋

多田紗希子



●長崎医療センター
1年目研修医

生まれも育ちも北海道。長崎の土地で自分のベストマッチな病院をみつける。40年以上に及ぶスーパーローテートの歴史をもつ長崎医療センターで研修をスタート。

履歴書の準備はOK!? 自己PRは大切に

編集部：6月に入ると臨床研修病院を受けるために履歴書を提出する人が多いと思います。先生方は履歴書を書くにあたって注意していたことはありますか？

尾　曲：友達がすごく丁寧に鉛筆で下書きしているのをみて、私もそれを真似していました。ただそんなに気を使ったわけではないですね。

多　田：私はその手の対策本を読んでやっていました。履歴書も押し間違いがないように最初にハンコを押しておくとか、写真もスピード写真じゃなくてちゃんと写真屋さんで撮ってもらうとか。

尾　曲：すごい、完ぺきじゃないですか！

多　田：でも一度そういうのを見ると、すべてそれに沿わないと気が済まなくなるんですよ。それはそれで結構たいへんです。

尾　曲：履歴書を書いてみるとなんだか自分の人生って薄っぺらいなと感じちゃうんですよね。ふつうに高校を卒業して、浪人して大学に入って……。

編集部：誰もがそう感じるのかもしれませんね。他にも自分には長所がない！ と思って自己PRを書くのに苦労している人もいるようですし。池田先生は苦労しませんでしたか？

池　田：本当にふつうのこと、これまでやってきたことを書くようにしていました。ウソはいけませんし。

多　田：自己PRはどんなふうに書きましたか？

池　田：学生時代にやっていた卓球の部活でかなり走らされたので「体力がある」ということ、あと趣味の欄では映画鑑賞以外に「献血」と書きました。社会貢献してます、という気持ちも込めて（笑）。

尾　曲：自己PRの欄は面接担当の先生に突っ込んでほしいところを書いていました。私の場合は小児科を目指して医学部に入ったことや、ボランティア活動の内容のことなど。その中で自分はこういう長所があります！ という内容を入れていました。

編集部：これまでやってきたことの中で、誰もが自己PRできる部分はあるということですね。

尾　曲：自分の長所が分からない人は「自分ってどんないいところがある？」って、友達とかに聞いてみると良いと思います。自分では短所と思っていたところが、実は周りからみると長所っていうこともありますから。

面接は練習が大事！ お風呂でブツブツ……

編集部：履歴書を提出したら、次はいよいよ本番。筆記試験と面接試験が始まります。特に面接が重要だと思いますが、一年前を振り返ってみてどうですか？

多　田：面接は本当に緊張しましたね。

尾　曲：私もそうです。すごく緊張しました。だから最初に聞かれるであろう志望動機や自己PRなんかは、1分間でちゃんと話せるように練習していました。お風呂でブツブツと言いながら。

多　田：本当はよくないんでしょうけど、本命の病院の前にあまり志望度の高くない病院を受けました。実際に受けてみると、緊張がエスカレートしてどんどん早口になってしまって。先に受けておいて良かったなと思いました。あと一人で練習をしていたのですが、いま思うと複数名でやった方が良かったですね。周りの人から自分のクセを指摘してもらえるので。

池　田：僕はあんまり緊張しなかったんですが、ある程度質問が予想されるものや、聞かれることが分かっていたものは回答を作っておきました。

編集部：それはどんな質問ですか？

池　田：例えば「将来の医師像は？」「医者に向いている人 or 向いていない人はどんな人だと思いますか？」「チーム医療を円滑にするためには？」などでした。

尾　曲：あと「他の病院は受けるの？」って聞かれませんでしたか。 私は長崎大学病院しか受けなかったんで素直に答えられましたけど。

多　田：似たような質問で「第一志望ですか？」と聞かれましたね。受けた病院が第一志望でないときは「他の病院と迷っています」と答えました。第一志望です、とは言えませんでした。

池　田：これ以外にも、自分の知識ではまだ答えられない質問ってあると思うんです。こういうときは無理に答えないで、素直に「分からない」と言った方が印象がいいと思います。謙虚さも大事です。

編集部：なるほど。ではこれも聞いておきたいのですが、最近は面接のときに「スーツじゃなくていいよ」と言われることが多いようです。先生方はどうでしたか？

池　田：言われましたね。僕は一応スーツのズボンにカッターシャツを着ていきました。

多　田：私は病院見学に行くときも言われたことがあります。迷ったのですが「ちゃんとして悪いことはない」と聞いていたので、スーツで行きました。

尾　曲：長崎大学病院は面接のとき「クールビズでいいよ」となっていました。でも実際はスーツを着て来た人がほとんど。面接官でもある浜田先生（下記参照）は「一人位スーツじゃないやつはおらんのか！」と言ってましたけど（笑）。

池　田：長崎大学病院は本当にクールビズで大丈夫みたいですけど、他の病院はどうなんですかね。

尾　曲：「本当にあの言葉を真に受けたの？」という人もいましたし、そういうことを書かれていてもふつうはスーツで来るよ、と面接担当の方にいやみぽっく言われた友達もいました。

編集部：難しいですね〜。病院や採用担当の方によって変わるようですね。こういう場合は無難な方、無難な方を選んでおけば間違いはなさそうです。

Dr.浜田に聞きました
～採用担当者からのアドバイス～

Q1 履歴書から気持ちって伝わるものですか？

もちろんです！ 本気で受験しているかどうかは、すぐに分かります。

Q2 学生の身だしなみはチェックしますか？

長崎大学病院では最近はエコのために、ネクタイ不要、クールビズで来てくださいと言っています（ウソじゃないです）。でも患者さんに不快感を与える髪や服装はNG。

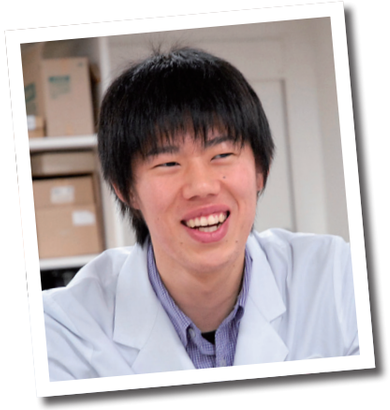
Q3 面接で緊張する人へのアドバイスは？

緊張してもいいです。なれなれしい人よりもいいと思います。素直に「緊張しています」と言えば、面接官がほぐしてくれますよ。

Q4 ウソでも「貴院が第一志望です」と言った方が良い？

ウソは言わない方がいい。お互いに気分が悪くなるから。狭い業界だから、医者になって学会なんかで会ったりしますしね。

◆浜田久之（はまだ ひさゆき）先生
長崎大学病院・医療教育開発センター教授。新・鳴滝塾事務局長。内科医。これまで1,000人以上の面接を担当している。



スタートは上々！
成長が期待できる研修

編集部：先生方は今年の４月から研修がスタートしました。実際に働いてみてどうですか？

―――市中病院の場合

池　田：佐世保中央病院には教えたがりな指導医がたくさんいて本当に充実した毎日を送っています。手技もたくさんやらせてもらえますし、僕自身すでに気管支鏡の手技はかなり経験しました。研修医の中には半年間で上部600例、下部200例もの内視鏡検査を担当した方もいます。

多　田：それはすごいですね！

池　田：あと回っている科以外でも学べる環境があります。例えば循環器の先生から毎日30分間、心電図のモーニングレクチャーを受けていますし、「CPAが来たから救外においでよ」とか「病理解剖をするから見学に来なよ」とか、他科の先生からもどんどん声をかけてもらっています。

編集部：なんだかてんこ盛りな内容ですね。

池　田：科の垣根が本当にないんですよ。医局は診療科に関係なく机が配置されていて、両隣の先生は異なる診療科の先生だったりします。そのため話が聞きやすく、いろんなアドバイスや意見をいただいています。

編集部：長崎医療センターの場合は大医局制という体制で、こちらも科の垣根がないようにしていますよね。電話一本で上の先生にコンサルトができると聞いています。

多　田：そうですね。医療センターは、指導医―レジデント―研修医という屋根瓦方式での指導体制をとっています。そのため相談しやすいというのはあると思います。特にレジデントの先生は「私たち研修医が何が分からないのか」をよく理解してくれているので助かっています。

編集部：勉強会などはあるのでしょうか？

多　田：研修医向けのセミナーを毎週１回やっています。なかなか研修でローテートしない耳鼻科や皮膚科の先生が「これだけは知っておいてほしい」というポイントを教えてくれます。

尾　曲：私たちはまだ研修が始まったばかりですけど、なんだか先輩たちが頼もしくみえませんか？ 学生のころに知っていた先輩とかが「えっ！ こんなにできるの！」とビックリしています。あの先輩が……。

池　田：それはよく分かります。再試を受けていた先輩もいまでは立派な先生になっている。いまは先輩たちみたいに臨床がちゃんとできるのかな～と、正直焦る気持ちと不安な気持ちがありますね。

―――大学病院の場合

編集部：次は尾曲先生のお話をお聞きしたいと思います。先生はたすき掛けプログラムで研修をしているのですか？

尾　曲：今年から始まったトライアングルコースで研修をしています。

多　田：トライアングルコースって何ですか？

尾　曲：最大３病院で研修が組めるプログラムで、私の場合は大学病院、対馬の地域医療、諫早総合病院を回る予定です。このコースを選んだ理由は小児科志望であると言ったところ、「さまざまな病院、地域での小児科を見たほうがいいよ」とアドバイスされたのがきっかけでした。

トライアングルコース

新・鳴滝塾と長崎大学病院が連携し、今年４月から新しい研修プログラム「トライアングルコース」がスタートしました。最大３病院の研修が可能となり、救急をとことんやるのもよし、プライマリケアを経験してから専門を勉強するのもよし、個人のニーズに合わせて、特に自由にプログラムを組めることが大きな特徴です。

1年次に30万円、2年次に30万円の学習補助金が新・鳴滝塾から支給されます！

■パターン①

1年目		2年目	
A病院	B病院	長崎大学病院	地域医療
6カ月	6カ月	11カ月	1カ月

■パターン②

1年目			2年目	
長崎大学病院	B病院	地域医療	A病院	長崎大学病院
5カ月	6カ月	1カ月	6カ月	6カ月

■パターン③

長崎大学病院８カ月（以上）＋
地域医療１カ月を除いた最大15カ月は、２つの病院を自由に組み合わせて研修を行う

※必ずしも希望が全て通るとは限りませんが、最大限希望が通るように各病院と調整します

編集部：たすき掛けのプログラムだけではなく、こんな新しいプログラムができていたんですね。

尾　曲：あと長崎大学病院のいいところは、他大学出身者でも指導医の先生が分け隔てなく熱心に教えてくれること。同期たちもやる気に満ちていてすごくいい雰囲気です。この間、同期で女子会をやったんですが、県外から来た人が「自分の地元の大学よりも居心地がいい」「同期の人とこんなに仲良くなれるとは思わんかった」と言っていました。長崎大学を卒業した自分としては、すごくうれしかったですね。

夏休みは長崎へ
新・鳴滝塾にコンタクトを！

編集部：最後にこれから病院見学を始めようという主に４、５年生の読者にアドバイスをお願いします。

池　田：病院の雰囲気が自分に合うかどうかが大事です。いま僕が研修している佐世保中央病院は、本当は候補に挙がっていなかったんです。たまたま見学することになって、そのときのスタッフの印象が良くって、ここは自分に合っているなと思いましたね。

尾　曲：私は県外の有名病院や他にもいくつか見学に行きましたが、病院のカラーは本当にさまざまです。最終的には住み慣れた町でストレスなく研修を進めたいことや、長崎の研修レベルが高いこともあって長崎大学病院を選びましたが。

多　田：確かに住む環境はとても大切で、自分がこの地域で生活するイメージができるかできないかもポイントだと思います。私が長崎での研修を決めた理由の一つに、この地域の町並みの良さもありました。

池　田：あと病院見学に行くと、研修医の先生が「うちはなんでもやらせてくれるよ」と言うことが多いと思います。でも研修医の先生自身が他の病院と比べているわけではないので、必ずしもそうとは限らない。

尾　曲：それはありますね。

池　田：なので、例えば外科を回っていた先生ならば「虫垂炎やヘルニアはオペしましたか？」などと具体的な質問をするといいと思います。

尾　曲：私のお勧めは見学する前に病院の基本的な情報を下調べしておくことです。見学する前に病床の数、外来数、救急搬送件数などの情報は頭に入れておきましょう。そして見学に行ったときには具体的にどんな症例が来るのか、特に当直帯や救急のときの状況を聞いておいたほうがいいです。

多　田：もし長崎の病院に見学に行ってみたい！ という人がいれば、まず新・鳴滝塾にコンタクトを取ってみてください。交通費の補助が出ますし、私も利用させていただきました。

尾　曲：私も利用しました。「ここに見学に行きたいんですけど」と漠然としたお願いだったにもかかわらず、ちゃんと日程の調整をしてくれました。新・鳴滝塾に見学のコーディネートをお願いしておけば、病院見学に行ったものの指導医の先生があまりいなくて……と残念な結果にもなりません。

編集部：なるほど。長崎県の病院見学ではまず新・鳴滝塾にコンタクト、ですね。他にもいろいろとお聞きしたいのですが、残念ながらもうページが足りません。読者の皆さんはぜひ長崎の病院見学に行って、今日の座談会の続きを聞いてみてください。

新・鳴滝塾とは

長崎県にある17の研修病院への見学・実習のコーディネートをはじめ、それぞれの病院の研修プログラムを伝えるために、さまざまな広報活動を行っています。

- **見学先病院のコーディネートのお手伝い**
- **病院見学・実習のための旅費をサポート**

■お問い合わせはこちら

長崎県医師臨床研修協議会「新・鳴滝塾」事務局
〒852-8501 長崎市坂本１丁目7-1
● TEL：095-865-8351　● FAX：095-819-7882
● E-mail：info@narutaki-jyuku.jp　● http://www.narutaki-jyuku.jp/